

社会教育推進大会・協働教育研修会

開催要項

1 趣 旨

社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する今日、予測困難な社会の変化にしなやかに対応し、たくましく生きぬいていく子どもたちを地域全体で育てていかなければならない。協働の取組が今こそ必要とされている。

そこで、子どもたちの豊かな心を育む教育について、学校・家庭・地域社会の関係者が幅広く意見交換を行い、三者の連携、融合、そして協働のあり方について参加者ととともに考え、それぞれの教育機能の活性化と学校教育の更なる充実を目指す。

2 主 題 『子どもの豊かな心をはぐくむ学校・家庭・地域社会の協働のあり方』

3 主 催 宮城県教育委員会
宮城県社会教育協会大河原支部

4 主 管 大河原教育事務所

5 共 催 丸森町教育委員会
丸森町PTA連合会（事務局 丸森中）
管内社会教育委員連絡協議会（事務局 大河原町）
仙南公民館連絡協議会（事務局 柴田町）
大河原地区社会教育主事研究協議会

6 後 援 白石市教育委員会 角田市教育委員会 蔵王町教育委員会
七ヶ宿町教育委員会 大河原町教育委員会 村田町教育委員会
柴田町教育委員会 川崎町教育委員会
仙南地域広域行政事務組合教育委員会
丸森町校長会 大河原管内郡市町PTA連絡協議会（事務局 角田中）
仙南地区子ども会育成会連絡協議会（事務局 柴田町）

7 日 時 令和4年10月1日（土） 午前9時開会
（受付8時30分から）
（閉会予定11時40分）

8 会 場 丸森町立丸森中学校 体育館 （丸森町字田町南24番地2）
Tel 0224-72-2144
Fax 0224-75-1526

9 参加者 管内小・中学校教職員・PTA会員
管内教育委員会関係職員
宮城県社会教育協会大河原支部会員
管内各市町社会教育委員
大河原地区社会教育主事研究協議会員
仙南地区子ども会育成会員
管内公民館等職員・関係者
管内青少年育成関係者
管内社会教育団体関係者

10 日程・内容

	内 容
受付 8:30～ 9:00	一般・来賓受付 資料等配布 ※役員 打合せ 8:00～ (駐車場係配置 8:10～)
開会行事 9:00～ 9:20	(1) 開会のあいさつ 大河原教育事務所 所長 高橋 紳一郎 (2) 祝 辞 丸森町長 保科 郷雄 殿 (3) 来賓・役員等紹介 (4) 日程説明
講演会 9:20～ 10:10 【休憩 20分】	(1) 講師紹介 (2) 講 演 演 題 『地域とともにある学校経営』 講 師 大河原教育事務所 指導班 副参事(副班長) 指導主事 朝日田 顕志 氏
研究討議 10:30～ 11:30	主題「子どもの豊かな心をはぐくむ学校・家庭・地域社会の 協働のあり方～地域支援活動をとおして～」 ◇コーディネーター 大河原教育事務所 社会教育指導員 松崎 隆 氏 ◇話題提供者 学校教育：丸森町立丸森小学校 主幹教諭 横内 彰 氏 家庭教育：子育てのご近所さん「ただいまおかえり」安部信次氏 地域活動：丸森町青年団 Re:birth 伊藤 和花 氏
閉会行事 11:30～ 11:40	(1) 閉会のあいさつ 宮城県社会教育協会大河原支部 支部長 横塚 正己 (2) 諸連絡



当日は、210名の参加者が集まり、協働の取組のあり方や重要性、可能性に関する具体的な話に耳を傾けました。講師の朝日田顕志氏の具体的な事例に基づいたお話から、学校・家庭・地域社会の協働には「自分たちが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく」という視点が不可欠であることを学ばせていただきました。また、横内彰氏、安部信次氏、伊藤和花氏の3名のパネリストの皆様によるパネルディスカッションでは、これまでの取組を基にした討議が行われ、様々な立場の人が連携して取り組む地域学校協働活動の重要性が再確認できました。今後はもより一層、学校・家庭・地域社会が協働して子供を育てる仕組みづくりを行って参ります。

次年度は角田市を会場に社会教育推進大会・協働教育研修会が開催される予定です。